

坂の上通信

令和三年九月二十九日
広島市立美鈴が丘高等学校
新聞文化部(四〇三演習室)

端末活用始まる



タブレットはiPadが推奨されている(イメージ)

高速通信のための工事も実施

政府のGIGAスクール構想に則り、今年度の1年生からタブレット端末の準備が呼びかけられていたが、10月より本格的に活用が始まる。各担当者に話を聞いた。

昨年度に実施した調査では家庭での準備率は約97%(表1)で、校内でもWiFi高速化の工事が9月末に実施された。9月29日

(水)には、1学年対象のオリエンテーションと接続テストが行われる。10月5日(火)～8日(金)が中間審査に

あたため、授業での本格的な活用は、考査明け以降となる見通しだ。

当面の利用法としてフォームを用いた小テスト、振り返りシートの実施、意見・感想・質問の共有、インターネットでの情報検索、教材となる動画の視聴などが考えられている。手探り状態での使用が続くが、今年度は各教科・科目の特性にあわせた活用を構築するこ

学校の「顔」にインタビュアー



今回は数学科で1年担任の永井先生にお話を伺った。
「なぜ数学の教師になつたのですか。」
「一つの問題に対し自分気づけなかった解

き方が色々あるという数学の魅力に引きつけられたからです。
「趣味はなんですか。」
「youtubeでesポーツの動画を見たり、音楽を聞くことです。」

「休日の過ごし方は。最近あまり出歩くことが出来ないのですが、コロナ対策をしながら近所の寺や土手を散歩したりすることです。」
「美高生に一言。」
「熱中して取り組めるもの、熱中できるものを、一つでも多く見つけてみましょう。」

【表1】通信環境に関わるアンケート結果(昨年度6月に実施)

自宅での通信環境について	全体
Wi-Fi環境があり、自分専用の端末がある。	96.3%
Wi-Fi環境があるが、自分専用の端末はない(共用)。	1.4%
自分専用の端末はあるが、Wi-Fi環境はない。	1.9%
Wi-Fi環境がなく、自分専用の端末もない。	0.3%

とを目標している。具体的には、予習的課題の提示・タブレットシートを用いたグループワークなど。タブレットでできることも増えるが、

対面授業の良さを活かしつつ、効率化できることをタブレットに変えることを大切にしていきたいと考えているようだ。

ICT活用の担当者である沖本先生は、「タブレットは1つの教材、すなわち文房具であって、授業のすべてがICT化するわけではない。今まで通り『書く』ことを大切に

しつつ、情報検索や課題提出等で有効に活用してほしい。タブレットは多様な可能性をもつツールなので、先生達も実践例から学び、積極的に活用していかうと思う」と話した。

情報モラルの徹底を

主幹教諭の西先生は「生徒も先生も初めての試みなので、何が起るかわからないが、同時にわくわくする気持ちもある。学習のために使うというはつきりとした目的があるので、それに則り効果的な活用方法を生徒と先生が一緒になって考えていければと思う。また、学校で充電しないなど使用上のルール、個人情報や著作権の保護などの情報モラルを徹底し、正しい使い方を実践することが大切だ」と話した。

歌は世につれ



歌は世につれ世は歌につれ。歌は、時代のアルバムです。
このコーナーでは、先生方の青春時代の思い出の一曲を、当時のエピソードとともに紹介していただきます。今回は、体育科の朝

倉先生にコメントをお願いしました。
2004年アテネオリンピックの公式テーマソングです。オリンピックの名場面とともに流れてきて感動したこと覚えていてます。「人知れず流した涙があっ

アーティスト	ゆず
曲名	栄光の架け橋

3年生 受験が本格化

進路指導部より下級生にアドバイス

3年生の入試が本格的に始まり、連日個別指導を受ける生徒の姿も多い。進路指導部の山下先生にお話をうかがった。
「3年生は授業のスピードが格段に速くなり、入試で問われるような応用問題を多く扱うようになる。限られた時間で1、2年生の内容も復習しなければならず、毎日の予復習に加え、放課後のゼミに参加するのが当たり前となつている。時間の有効活用に苦労している

3年生も多いだろう。1・2年生は、課題を「提出するため」にやるのではなく、同じ問題が出た時に満点解答が書けるよう、丁寧にやってほしい。また英単語や現代文重要語、古文単語など一度に全てを覚えることが困難なもの、毎日少しずつ学習することが重要。そして何より、1日1時間からでもいいので、毎日の家庭学習を下級生の間に習慣づけておくことが大切だ」と山下先生は力を込めた。

一般的な入試スケジュール

- 【9月】 大学入学共通テスト出願 総合型選抜 開始
- 【11月】 学校推薦型選抜 開始
- 【12月】 一般選拔出願 開始
- 【1月】 大学入学共通テスト 私立大学一般選抜 開始
- 【2月】 国公立大学前期日程試験

修学旅行が延期

新型コロナウイルスの影響で、10月5日(火)から8日(金)にかけて予定されていた修学旅行は、日程を延期・縮小して行うことが決定した。現時点では、令和4年2月16日(水)から18日(金)の2泊3日で予定されているが、今後の感染状況によっては中止となる可能性もある。行先は東京に限らず、修学旅行の教育的な意義を踏まえ、変更も含めて検討していく。

2年生からは「修学旅行を楽しみにしていたので、延期や日程の短縮は残念に思うが、感染拡大が収まっていない状況であるため仕方ない決断だと思う」と、決定を受け止める声が上がっている。



美・鈴・鈴・鈴

新型コロナウイルス対策のため、オンライン授業を実施する学校が増えていく。美高も先日の臨時休業のときにはオンライン授業を行った。▼オンライン授業の一番のメリットは、感染リスクの軽減だ。また大雨など緊急時の休業にも対応でき、学びを止めなくて済むことも挙げられる。一方、通信環境の整備が必須であること、長時間使用による視力への影響などがデメリットとして挙げられるが、最も深刻なのはプライベートの時間と学習の時間の切り替えが難しいことだろう。▼自分を律することが前提とはいえず、教材を提示するオンライン配信が、時間の切り替えに甘えを生み出している原因の一つと言えないか。スキル・機材の問題はあるが、ライブ配信を取り入れることが出来れば、50分の授業を最後まで受けることができる上、質問なども可能となるはずだ。▼オンライン授業にはまだ多くの課題がある。そこを改善していくことで、「ウィスコナ」へ1歩近づけることが出来るはずだ。(石井咲衣)

編集後記

タブレットの管理を徹底しましょう。